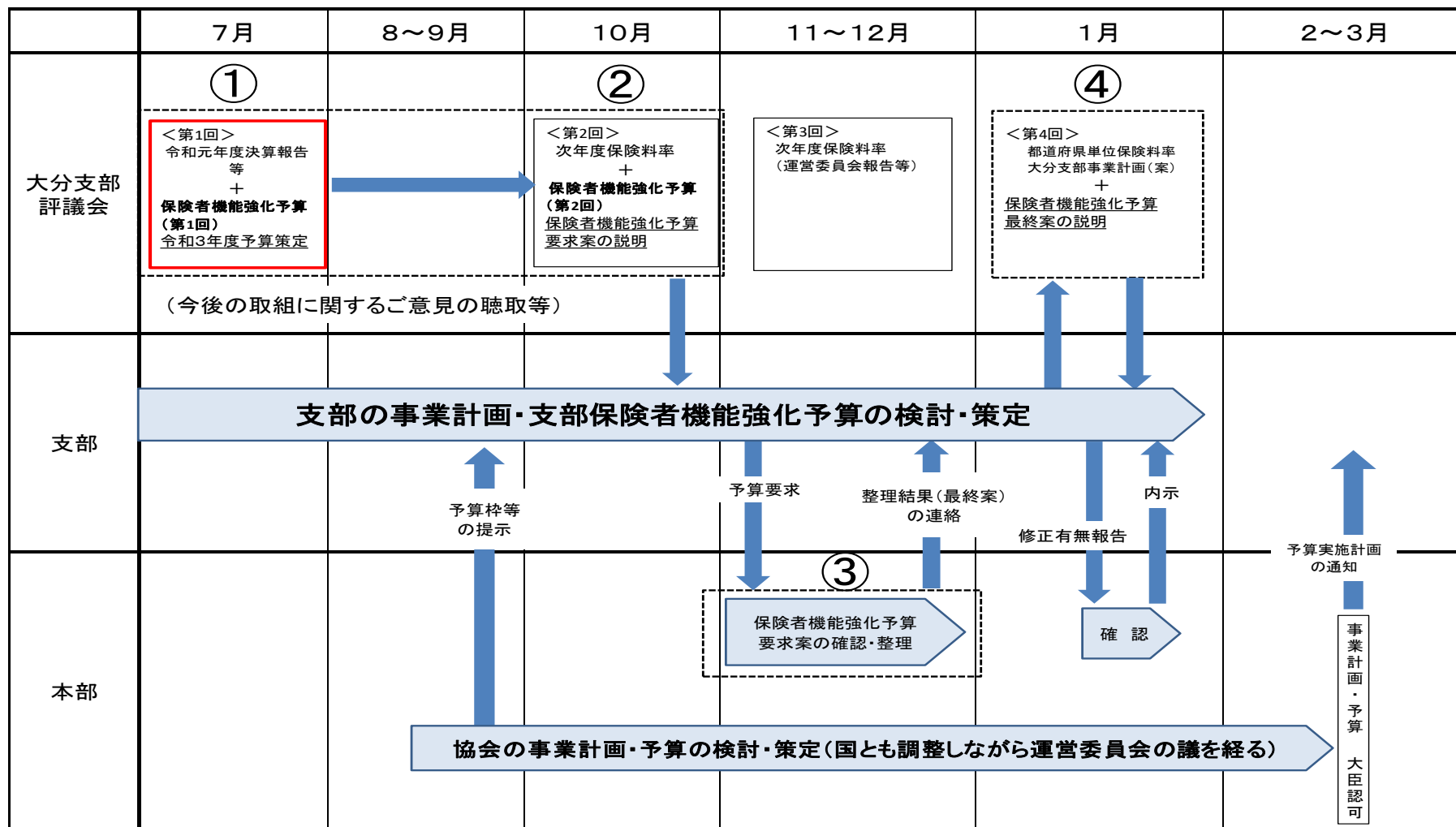


支部保険者機能強化予算について（第2回）

全国健康保険協会 大分支部

■大分支部評議会と保険者機能強化予算協議の予定

支部評議会における今後の協議の流れ



1. 支部医療費適正化等予算要求（案）【必要経費（(1)+(2)）：11,624千円 / 予算枠：11,693千円】

(1) 医療費適正化対策

(単位：千円)

通番	事業名（テーマ）	目的	事業概要	令和3年度 経費 (見込み)	新規/継続
1	・新生児の保護者に対する適正受診啓発冊子配布	・乳幼児の医療費の適正化	・新生児の保護者を対象とし、適正受診啓発冊子の送付を行う。	2,081	継続
2	・70歳に到達した加入者を対象とした受診セットケースの配布	・重複投薬・禁忌服薬の防止 ・高齢者の医療費の適正化 ・ジェネリック医薬品の使用促進	・70歳以上の加入者が受診の際に必要な保険証、高齢受給者証、お薬手帳をひとまとめに出来るケースを作成し、ケースの使い方に関するチラシやジェネリック医薬品切替シールを同封する。	1,892	継続
3	・ワクワク体験！おくすり教室	・小児層（子）および若年層（親）のジェネリック医薬品使用割合の向上	・夏休みのイベントとして、8月に大分市内に居住する小学1年生とその保護者を対象としたジェネリック医薬品使用促進にかかるお薬体験教室を開催する。	158	継続
4	・オンライン形式による健康保険委員研修会（メンタルヘルス、運動、ビジネススキル）	・加入者サービスの向上 ・医療費の適正化	・メンタルヘルス、運動、ビジネススキルの3種類のセミナーをZoomで開催し、研修内容を選択できる形で実施する。	781	新規
計				4,912	

(2) 広報・意見発信

①紙媒体による広報事業

(単位：千円)

通番	作成物	目的	事業概要	令和2年度 経費 (見込み)	新規/継続
1	・小学生への医療費適正化に関するチラシ	・医療費適正化	・県内の各市町村教育委員会へ協力を依頼し、医療費の適正化に関するチラシを大分県内の小学生と保護者に配布する。	1,040	新規
2	・事業所向け定期広報チラシ	・事業所に対する制度・事業の周知広報	・日本年金機構が毎月発行する納入告知書に同封するチラシを作成し、事業所宛に配布する。	1,670	継続
3	・支部事業、サービスPR冊子	・支部事業の周知、広報	・関係機関や新規適用事業所等へ支部事業等を周知するための簡易リーフレットを作成し、事業所宛に配布する。	297	継続
4	・事務手続き冊子	・制度周知 ・加入者サービス	・新規適用事業所へ健診事業や健康保険制度を周知するための冊子を作成し、事業所宛に配布する。	286	継続
5	・メールマガジン登録勧奨チラシ	・メルマガ会員の拡大	・メールマガジンの登録勧奨チラシを作成し、説明会や事業所訪問時に配布、申請書送付時に同封する。	99	継続
7	・事業主及び加入者あて保険証の早期回収、返納及び使用期限の周知用チラシ	・医療費適正化	・資格喪失後受診抑止のためのチラシを作成し、事業主に対して保険証の早期回収、加入者に対し保険証の退職時返納及び保険証の使用期限は退職日までと徹底して周知する。	327	継続
8	・加入者及び医療機関等に対し医療機関等受診時の保険証提示・確認を周知するポスター	・医療費適正化 ・医療保険制度に対する加入者意識の向上	・医療機関等にてポスターを掲示することで、加入者及び医療機関等へ受診の都度保険証提示・確認を周知徹底し、資格喪失後の受診抑止するとともに、医療保険制度に対する加入者意識を高める。	273	新規
9	・限度額適用認定申請セット	・限度額適用認定証の利用促進 ・郵送による申請手続きの促進	・限度額適用認定申請に必要な書類のセットを作成し、医療機関窓口へ配布する。	116	継続
10	・任意継続健康保険制度の説明リーフレット	・加入者サービス	・任意継続健康保険制度の説明リーフレットを作成し、任意継続の加入予定者に配布する。	116	新規
計				4,224	

②その他の広報事業（紙媒体以外）

通番	作成物	目的	事業概要	令和2年度 経費 (見込み)	新規/継続
1	・宣言事業所への健康情報誌「四季の報」の送付	・加入者サービスの向上	・一社一健康宣言事業所へ健康経営のサポートとして、年4回情報誌を送付することで、季節の健康情報をお届けし、従業員の健康に対する意識を向上させる。	1,056	新規
2	・大分トリニータのマッチデー広告(情報誌)における記事掲載	・医療費の適正化	・大分トリニータのホームゲームの開催に合わせ、スタジアムや大分市内各地で無料配布される大分トリニータの情報誌にジェネリック医薬品使用促進の広告を掲載する。	132	継続
3	・大分トリニータ公式マスコット「ニータン」のジェネリック医薬品希望シール	・医療費の適正化	・大分支部は、若年層（15～34歳）のジェネリック医薬品使用割合が低く、大分トリニータのサポート層と年齢構成が重複するため、公式マスコット「ニータン」の訴求力も活用し、使用割合の向上につなげる。	352	継続
4	・社会保険事務説明会開催	・加入者サービスの向上 ・制度周知	・協会事業の周知や普及推進のために、適用事業所を対象に事業説明等を行う。 (日本年金機構・労働局と合同開催)	618	継続
5	・社会保険事務説明会の説明動画支部ホームページ掲載	・加入者サービスの向上 ・制度周知	・担当者の都合で自由に閲覧できる支部ホームページへの説明会の動画を掲載することで、協会けんぽ事業への理解度向上につなげる。また、説明項目をチャプター設定で分けることで、閲覧時間の効率化を図る。	330	継続
計				2,488	

2. 支部保健事業予算要求（案）【必要経費：44,532千円 / 予算枠：44,537千円】

通番	事業名（テーマ）	目的	事業概要	令和2年度 経費 （見込み）	新規/継続
1	・健診関係	・健診受診率の向上	・健診受診勧奨 ・集団健診の実施 ・事業者健診の結果データの取得 等	27,223	継続
2	・保健指導関係	・特定保健指導利用率の向上	・特定保健指導の中間評価時の血液検査 ・保健指導利用勧奨 等	2,204	継続
3	・重症化予防事業	・未治療者に対する受診勧奨、重症化予防対策	・未治療者に対する文書および電話による受診勧奨 ・糖尿病性腎症患者の重症化予防対策にかかる外部委託 等	10,240	継続
4	・健診デビュー者（被扶養者）への健診セット送付による受診勧奨	・特定健診受診率の向上	・40歳を迎えた被扶養者を対象に、専用のリーフレット、アンケート用紙等からなる健診セットを送付し、受診勧奨と特定健診に対する関心度の状況把握を行う。	352	新規
5	・健診実施機関及び事業所と協働した、要治療者への受診勧奨	・要治療者の医療機関受診率の向上	・健診の結果、要医療となった被保険者に対し、健診機関、事業所から受診を勧奨するスキームを整え、受診行動につなぎ、重症化予防を図る。	594	新規
6	・コラボヘルス事業	・一社一健康宣言事業所の展開 ・健康宣言事業を通じ、事業主とのコラボヘルスにより、加入者の健康維持増進を図る。	・事業所の健康づくり支援、チラシの作成 ・健康宣言事業所の取り組み事例の広報 ・自治体の健康情報を提供 ・健康経営認定事業所の周知広報	3,071	継続
			・一社一健康宣言事業所への事業所健康診断シートの送付	248	
			・運動動画の作成と広報	600	新規
計				44,532	

3. 前回評議会でもいただいたご意見への対応

・支部保健事業予算にて反映いたします。

■ 特定保健指導

ご意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導に関して、たばこのパッケージに関する警告表示のように、危機感を警告する広報を積極的に実施した方が効果的ではないか。 	<p>継続 (通番2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健指導案内時や、広報の際の記事の表現について、受けないことによるリスクなど危機感を警告する効果的な内容となるよう検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> 健診当日の保健指導の実施は非常によい取り組みである。保健指導を実施できない理由を作らないためにも、健診受診日に合わせて保健指導を実施してもらいたい。 	<p>継続 (通番2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実地調査や研修会の機会を通じて、当日保健指導の実施について引き続き、推進し、健診当日の保健指導実施機関の拡大についても取り組んでいきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとに遠隔地での保健指導が実施できれば効率的ではないか。 	<p>継続 (通番2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託機関では、遠隔地での面談が実施出来るが、大分県内では利用が少ない状況である。協会のWeb会議システムを活用した支部契約保健師等による遠隔面談も可能になるため、希望があれば実施したい。また、遠隔実施専門の業者調達も検討していきたい。

■ 生活習慣病予防健診

ご意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> 個人ベースでの健診受診勧奨を行っても受診率を上げるのは難しいのではないか。職場での集団検診が一番望ましく、検診車で実施するような方法を検討する方がよいと考えられる。 	<p>継続 (通番1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診機関一覧表に掲載されているが、一定数以上の受診対象者がいれば検診車を出している健診機関がある。職場での集団健診について、検診車を依頼する方法があるということを広報の機会を通じて周知するなど、健診の受診方法も含めて周知し、受診率向上に努めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で健診受診を控える人が出てくる可能性がある。感染防止を徹底して、安心して健診を受けられるような、受診率が下がらない取り組みが必要ではないか。 	<p>継続 (通番1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で、健診を控え、重大な病気の発見が遅れることが懸念される。健診機関は細心の注意を払って健診を実施していることを周知しつつ、保険者として引き続き受診勧奨を行っていききたい。また、休日を活用した健診も引き続き実施し、受診率向上に努めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 時間の調整が難しい業種の方に、どのようにして健診を受診されているかなど、事例でまとめて、受診出来ない会社へ提供する取り組みを実施してはどうか。 	<p>継続 (通番6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問サポート等で健診受診率が高い事業所を訪問した際に方法を聞き取り、他の事業所にも情報提供を行っている。また、成功例を積み上げて、受診勧奨の際の資料として検討したい。

■ 重症化予防

ご意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病に関して、大分県は日本でもトップの患者数である。重症化に関する指標があると思うので、リスクをきちんと周知いただきたい。 	<p>継続 (通番3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨や保健指導の際に対象者に対して、健診結果からみたリスクについて、大分県の糖尿病等の現状も踏まえ細かく説明し、生活改善や受診の必要性について周知しており、引き続き周知していきたい。